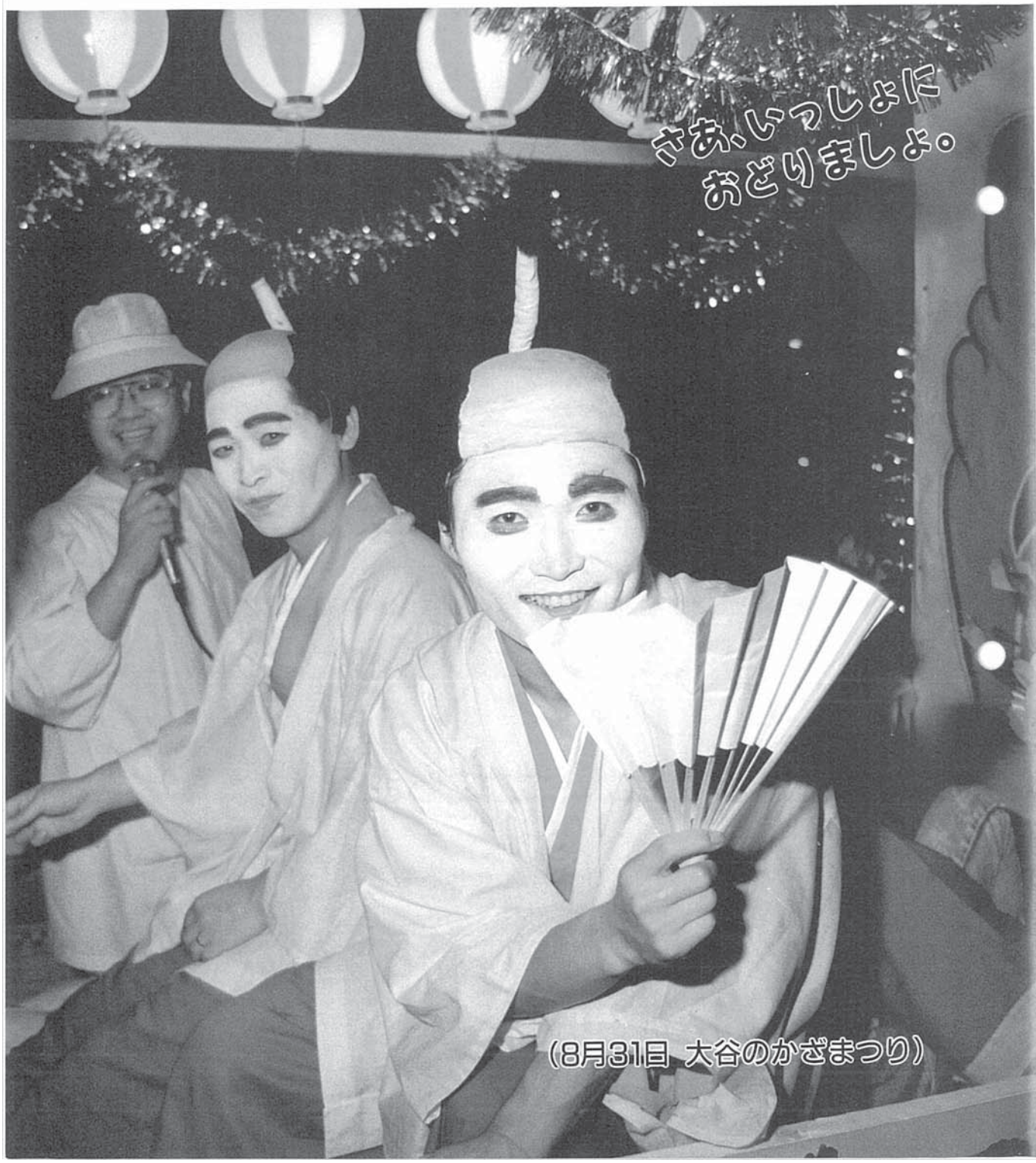
広報のあさひ

No.394
'89
9/15



（8月31日 大谷のかざまつり）

PART Ⅲ

まち」どうつくる

合併浄化槽で美しいせせらぎを

私たちの暮らしにもっとも身近で大切な生活排水問題。ここ数年その処理対策のあり方をめぐって活発な論議が交されてきましたが、本年三月町議会の下水道問題特別委員会が「小型合併処理浄化槽による町全域整備」との調査結果を報告。町衛生組合や連合婦人会でも先進地視察や学習会を開くなど、合併浄化槽整備へ向けてさまざまなとりくみが展開されています。

そこで、今月は、さわやかで住みよい環境づくりを進めるための対策を中心としながら、合併浄化槽導入への課題や対応のあり方などについて、各分野の代表の方々に話合っていただきました。

推進協議会つくり 理解と協力の輪を

司会――今日は私たちの暮らしと切り離すことのできない生活排水の処理問題をテーマにお集まりいただいたわけですが、まずはじめに町長からこれまでの経過を含めて、町としての整備計画の概要をお話下さい。

町長――この問題についての主な経過は別表にして示してあるとおりですが、町議会をはじめ衛生組合連合会や婦人会などでこれまで論議を深めていただくとともに、役場の内部プロジェクトにおいても処理方式など将来に誤りのない整備計

●西沢敬子さん
（西原　40歳）
連合若妻会副会長

●佐竹　薫さん
（松程　68歳）
松程新憩土地改良区理事長、町議

●司会/堀　重雄
（広報委員会副委員長）

●下水道問題の主な経過

■62年12月／「朝日町下水道整備構想（案）」を町議会へ提出。

■63年6月／町議会に「下水道問題特別委員会」を設置。

■元年2月／町役場下水道プロジェクト（チーフ＝熊坂助役）、小型合併処理浄化槽の整備による下排水対策を内容とする「朝日町河川等環境整備事業計画（案）」をまとめ、町議会の特別委員会へ提出。

■〃／町衛生組合連合会、婦人会などが合同研修会を開催。地域開発研究会が「水と暮らしを考える一〇〇人討論会」開く。

■元年3月／「合併処理浄化槽の町全域整備を図る

先進地を視察し研究を重ねた

画づくりめざして調査検討を行ってきたところです。
その結果、わが町としては山間部に散在する集落形態や事業費の問題、受益者負担、供用開始までの工事期間の問題など総合的判断に立って、設置が比較的簡単で全町どこからでも着手でき、しかも浄化機能が高い小型合併処理浄化槽で町全域整備するという方向を選択したところです。

司会――いまお話があったように、ここまでたどりつくには研修会や町政座談会などでの話合いを経て、ようやく町民合意をとりつけたわけですが、補助財源を含めていよいよこれからが正念場といえます。
今後の具体的な推進策についてはいかがでしょうか。

町長――町内で今後設置を要する対象としては、大谷地区や施設入所者などを除く約二千世帯です。仮に一戸当り五十万円の補助と仮定して年間二百戸で一億円の財源が必要となり、全戸設置するのに順調に行って十年はかかる。町民の理解を十分に得ながら計画的に進める必要があります。
具体的な進推策としては地域ごとに「合併浄化槽推進協議会」の組織をつくって、自主的なとりくみを促す方法が考えられます。この組織を中心としながら低利の融資制度をつくり、みんなが設置できるような対策をすすめていきたい。と同時に、国、県に対しても補助制度の強化、創設を求めていかなければと考えています。

司会――先日の新聞報道によると、下水道普及率が英国、西独が九〇㌫、米国七三㌫に対し日本は三九㌫と低く、立ち遅れの原因として地域の実態とかけ離れた大規模な流域下水道整備等が上げられています。幹線が長く工事期間がかかりすぎて、膨大な工事費をかけることは正しい選択」との町議会下水道問題特別委員会の調査報告を提出。

■元年5月／町衛生組合連合会「モデル合併浄化槽設置」申込み者を募集。

■元年8月／下水道プロジェクト「合併浄化槽の普及に関する条例（案）」及び「補助金交付規則（案）」をまとめ検討。

■〃／文教厚生常任委員会、原案了承。

■元年9月／融資制度について金融機関と協議

広報座談会

●五十嵐義行さん
（中沢　33歳）
合併浄化槽モデル設置者

●若月玲子さん
（西船渡　57歳）
連合婦人会副会長

●海野敬次さん
（元町　66歳）
町衛生組合連合会長、連合区長

●小林富蔵町長
（大沼　71歳）

「さわやかな

特集　生活排水

る割に恩敬に浴する地域が少ないという実態を指摘しています。

これまで環境づくりのリーダーとして推進役を担ってこられた海野さんいかがでしょうか。

モデル設置で推進にひと役

海野――町の中心部である宮宿地区の場合は、市街化区域のため公共下水道しかないと、数年前から研究をすすめてきました。ところが今お話があったように、着工から供用開始まで十数年かかる上、他の集落ではその間何もできずに指をくわえていなければならない。しかも排水はタレ流しのままの状態。そこで昨年春から合併浄化槽の話が持ち上がり検討してきたわけです。

これまでは研修や各方面との話合いなどをすすめてきたわけですが、機能性や設置条件など実際見てみないとわからない場合が多く、まずモデル設置からと本年八基の希望者を募り、現在まで四基完成しているところです。

一番の問題は相当な面積が必要なこと。とくに密集地の場合は問題が大きいですね。推進母体としてこれまですでに数集落で推進協議会をつくっていますが、今後町や議会ともタイアップしながら町一本の組織化を図りたいと考えています。

司会――台所をあずかる主婦の立場から若月さんいかがでしょう。

若月――第一に設置するための費用の問題、二つ目に施設の維持管理の問題が大きいと思います。

やはり環境汚染の元凶は台所の雑排水だといわれていますので、主婦の役割は大きいと思いますが、いざ設置するとなると設備本体や配管の費用のほか家屋の改造費もかかるわけで、資金面での融資制度はぜひ必要です。自衛手段として既に各家庭で積み立てをやっている方もいますね。

それと雑排水のタレ流しは浄化槽の機能低下につながりますので、今のうちから合成洗剤は使わないとか、廃油は固形化剤を使うなどして絶対流さないといった、習慣を身につけることが大切だと思います。

合併浄化槽導入のあり方を語りあうメンバー

「20ＰＰＭ以下なら放流に協力」

司会――いま若月さんからお話があった処理水の放流の件ですが、町の計画では既存の用排水路を使う予定をしています。いろいろ問題があるといわれていますが、土地改良区の立場から佐竹さんどうぞ。

佐竹――町内には、宮宿・能中・大谷・松程と四つの土地改良区があり、それぞれ排水についての対応は違うと思いますが、松程の場合は今後、合併浄化槽設置後の二〇ＰＰＭ以下の放流には協力していこうという協議を先月行っています。

これまでも、松程堰は生活用水の一部として使ってきた経過があり、用水路の管理は年二回各戸から出て清掃をしています。確かに近年汚れが目立ってきていることも事実ですし、この事業推進に当っては水利組合や改良区への啓蒙にもっとウェイトを置くべきと思います。また、水利組合自体としても、全町的立場に立って前向きにとりくむことが大切です。

五十嵐――処理水にしても稲作などへの影響が本当にないのか、データをきちんと示して協力を求めていく必要がありますね。それと私の場合は、今回家屋を新築した関係でモデル設置をしていただいたわけですが、設置してすぐきれいになるというものでないので設置者も十分管理に気をつけたいと思います。

司会――東京農業試験場の調査結果によるとＢＯＤが二〇ＰＰＭ程度の排水であれば、農業用水路に放流されても稲に対する窒素の影響はないことが確認されています。また最近岩手大の研究で、下水中のアンモニア性窒素は一〇〇％除去可能との報告もあり、五、六年後実用化できる見通しともいわれていますね。

ところで次に水の問題に

移りますが、最近出勤前にシャワーで洗髪する〝朝シャン族〟が増え、水の使用量が一割も多くなったとの報道がありました。こうした水需用の増加に伴い、水不足の問題も出ていますが、西沢さんはどう感じておられますか。

わが家の排水に責任をもって

西沢――朝日町に移ったばかりの頃、川が目の前にあるのが嬉しくてすぐ子供といっしょに泳いだことが忘れられません。今はもう泳げる状態ではありませんが私たちが子供に残せるものは、町の豊かな自然しかないと思うんです。水にしても川あそびやつりなどを通してその大切さを体験するものです。

公共下水道の場合は、使った水はすぐ地下を通って処理場へ流れますので、目にふれないだけに無責任になりますね。やはり子供たちに目に見える形で教えていくためにも、各家庭で責任をもって排水の管理もしていくということが大切なのではないでしょうか。

司会――「スプーン一杯で驚きの白さ」とか「ハイテク酵素で油汚れを分解」といったテレビコマーシャルが毎日流れていますが、この洗剤の問題も表面化しています。汚れがよく落ちるのは、主成分の〝界面活性剤〟の量を増やした結果で、これには問題のＬＡＳという毒性の強い成分が含まれているんですね。アユなどの魚が、この臭いを嫌って

ぜひせせらぎを守りたい（古槙の川まつりで）

そ上しなくなったという報告もあります。台所からの対策が求められているということですね。

海野――地域ぐるみで合成洗剤を使わずに、せせらぎを守る運動をやっている米沢や南陽市の町内会の例があります。とくに廃油のタレ流しは、浄化槽の機能低下を招くし汚染の元凶にもなる。誰もがいつでもできる運動として今からとりくんでいくべき課題です。

西沢――私の家でも合成洗剤でなく台所用の固形せっけんや粉せっけんを使って十年以上になるんですが、洗浄力はそう違いません。今後、事業推進に当っては台所をあずかる女性の発想もぜひ生かしてほしいですね。

若月――わかっていても一度使うとやめられないというのが現実かと思いますが、まず台所からの意識革命が必要ということで、衛生組合とも力を合わせてぜひ改善していきたいですね。

維持管理体制も自主的とりくみで

司会――公共下水道と違って各家族で維持管理をする場合、その体制や費用の問題も大きいと思いますが、町長いかがでしょうか。

町長――やはり個人管理となるとバラつきがあり、目標達成ができないのではという指摘もあります。そこで自主的な管理組織をつくって、お互いに注意しあって規準を守っていく体制が必要になる。行政も公共下水道の公費負担を考えれば、検査など維持管理面への助成も考えられます。ぜひ議会とも協議しながら、県内のモデルとなるようなさわやかな町づくりをすすめていきたい。

海野――町一本の推進協議会のような管理組織はぜひ必要です。今まではとりつければあとは業者まかせで関心もなかったが、今後は自分たちで責任をもって美しいせせらぎを守っていくという意識でとりくんでいきたいと思っています。

五十嵐――それと機種選定についても業者に頼らず、将来もっと良いものが出てきた時に悔いの残らないよう、十分検討してすすめてほしいとも思います。

佐竹――この事業への国の補助は三分の一のみ。もっと国や県への働きかけを町も議会も一体となってすすめていきたいですね。

司会――今日はお忙がしいところありがとうございました。

国道二八七号線と連結する横断自動車道「寒河江西」インターの設置をめざそう

▶寒河江市で総決起大会

去る八月三十日、寒河江市の市民文化会館で寒河江西（仮称）インターチェンジ設置促進総決起大会が開かれました。

これは、高速交通網の谷間にあった本県でも、去る七月二十六日に東北横断自動車道酒田線の山形北～寒河江間十一・一キロが開通したのを受けて、インターチェンジの設置計画にもれた国道二八七号線との交差地点に新たに寒河江西インターチェンジを設置して、沿線地域の振興発展をめざそうというもの。

大会当日は、午後一時から設置促進同盟会の設立総会が行われ、佐藤誠六寒河江市長を会長に選出。午後二時から、寒河江市、大江町、朝日町をはじめとする国道沿線七市十町の住民、およそ六百人が参加して総決起大会が開かれ、インターチェンジの設置促進に向けた大会決議案を満場一致で決議。その実現を政府および関係機関に働きかけていくことになりました。

伝えてください あなたのメッセージ

任期満了による県知事選挙が９月18日告示、10月８日㈰投票の日程で行われます。この選挙は、県政の代表者を選ぶ重要な選挙です。棄権せず、自らの判断で清き一票を投じましょう。

10月8日（日）は 山形県知事選挙投票日

◎投票できる方

投票日（十月八日）現在、満二十歳以上（昭和四十四年十月九日以前に生まれた方）で、今年六月十七日以前から本町に住民登録されている方です。

なお、六月十八日以降に県内から転入された方は、本町に引き続き住所を有する旨の証明書（住民課で発行）があれば、前住所地で投票することができます。

◎不在者投票は早めに

投票日に、旅行などやむを得ない用務や出産などのために投票所に行って投票できない方は、十月七日まで不在者投票ができます。印鑑を持参の上、中央公民館二階と西部・北部公民館に設けてある不在者投票所においでください。受付時間は午前八時三十分から午後五時までです。

●問合先
選挙管理委員会事務局（役場総務課内）☎六七―二一一一内線二一三）

ふるさとの未来について語り合った「よあかしフォーラム」

「老人ディサービス」が1位

「ふるさと創生」アイディア 人気投票の結果まとまる

町では「ふるさと創生」資金一億円の使い道について、町政座談会や町民から直に提案いただいた六十二件のアイデアの集約を町地域開発研究会（阿部宗一郎会長）に委託。その結果がまとまり、九月七日に阿部会長から小林町長へ報告書が手渡されました。

この「ふるさと創生」資金は、住民自ら考え、自ら実践する地域事業に活用されるもので、同研究会では六月三日、農業団地センターで「町民よあかしフォーラム」と銘打ったアイデア発表会を開いて町民討議。さらにアイデア一覧表を全戸に配布して、各家庭三票の人数投票を行い、町民へ「ふるさと創生」への参画を呼びかけたもの。

この報告書によると、人気投票に参加してくれた家庭は千四百七十世帯で、全世帯の五六・六七%。アイデアの人気ベストテンは、表1のとおりとなっています。町では、この貴重な報告書をもとに、町振興対策審議会等へ具体的な活用策を提案して、審議いただくことにしています。

表1：10位までの人気投票結果

順位	得票数	No.	アイデアの主な内容
1	430	50	ねたきり老人のためのディサービス施設の建設
2	301	62	2年間かけてアイデアを出し合う。その間、高利なものに一時預金しておく
3	229	14	温泉を利用した宿泊施設や熱帯植物園などの建設
4	179	52	老人ホームの建設など、高齢者福祉のために活用
5	158	12	町の花「ヒメサユリ」の咲く散歩道や花園公園をつくり、町の花のPRを
6	148	23	農協とタイアップして、温泉利用の保養センターの建設
7	145	2	農業改善の研究拠点の設置や、りんご博物館、交流センターの建設
8	137	60	各家庭や各部落に配分する（公共事業などへ平等に）
9	132	6	町営ドライブインの建設
10	130	51	在宅老人の一時あずかり施設として、老人の交流の場となる一日保養所の設置

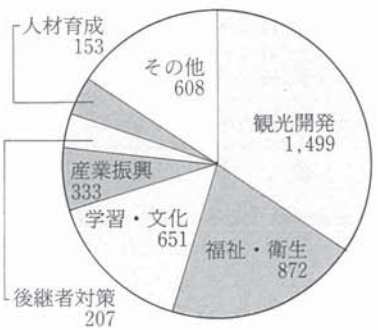


図1：分野別得票数

簡易保険積立金は公共事業の資金に活用されています

郵便局で取り扱っている簡易保険の積立金は、学校や道路、公園、また生産活動の基盤整備など、公共事業の活用資金として還元融資され、町づくりに生かされています。

当町でも、昭和六十三年度は次の事業資金に融資を受けています。

▽水本小学校建設事業　九千八百八十万円　▽緑が丘公園緑地整備事業　八百二十万円　▽消防施設（防火水槽）整備事業　七百万円

水本小学校新校舎

町職員の給与のあらまし

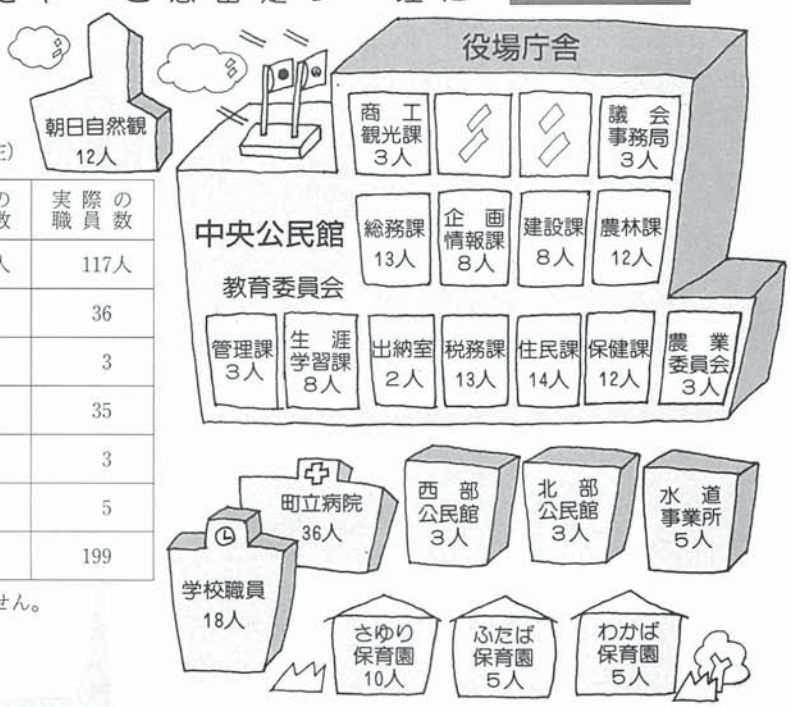
公表

この公表は、国や町の行政改革基本方針に沿って、町職員の給与の実態をみなさんに理解していただくためのものです。

町職員の給与は、「地方公務員法」に基づき、町議会で給与条例や予算審議を経て決定されます。条例案及び予算案は、国や県が毎年四月一日現在で行う民間事業所の給与実態調査をもとに、財政的裏付けと近隣町村などとの均衡を考慮し作成されます。

例年の場合、その年の国や県の給与法令や給与水準が確定する十二月に、給与改定のための条例案、補正予算案が議会に提出されます。昨年度は、平均二・二八%の給与改定が昭和六十三年四月一日にさかのぼって実施されています。

職員



職員定数と職員数（平元４．１現在）

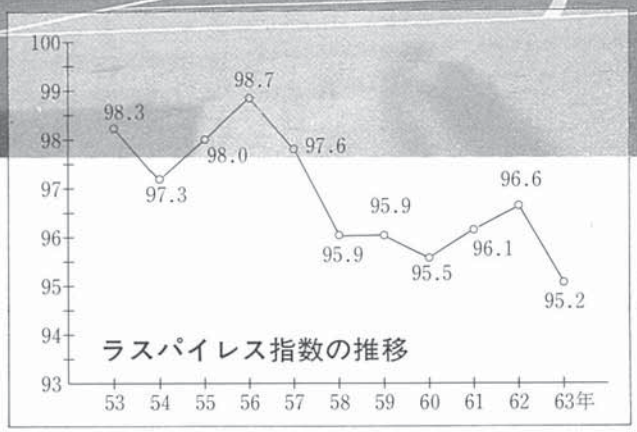
区分	条例上の職員定数	実際の職員数
町長の事務部局の職員	118人	117人
町立病院の職員	38	36
議会の事務部局の職員	3	3
教育委員会の事務部局の職員	35	35
農業委員会の事務部局の職員	4	3
水道企業職の職員	7	5
総計	205	199

※非常勤（臨時、嘱託）の職員は含みません。

一般行政職の級別職員数（平元４．１現在）

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比	１年前	
				職員数	構成比
１級	主事補、技師補	3人	2.2%	7人	5.0%
２級	主事、技師	14	10.1	12	8.6
３級	上級主事、技師	33	23.9	42	30.0
４級	係長、主任	51	37.0	45	32.1
５級	主査、優秀係長、主任	18	13.0	17	12.2
６級	課長、優秀主査	9	6.5	7	5.0
７級	優秀課長	10	7.3	10	7.1
計	――	138人	100%	140人	100%

町職員1人当たり　456万円



ラスパイレス指数の推移

給与

特別職の報酬等

（平元４．１現在）

区分		給料月額等
給料	町長	630,000円
	助役	490,000
	収入役	458,000
報酬	議長	221,000
	副議長	182,000
	常任委員長	165,000
	議員	165,000
期末手当	町長	給与（報酬）月額
	助役	の25％加算額に
	収入役	６月期 1.4月分
	議長	12月期 1.9月分
	副議長	３月期 0.5月分
	常任委員長	計　3.8月分
	議員	を乗じた額

※特別職の報酬額は、昭和63年４月１日に改正され、現行の額になっています。

＊職員手当の種類

管理職手当・扶養手当・住居手当・通勤手当・時間外勤務手当・休日勤務手当・宿日直勤務手当・特殊勤務手当・期末手当・勤勉手当・寒冷地手当

＊ラスパイレス指数

給与水準を国家公務員と比較するための一つの指数で、国家公務員を一〇〇とした場合の町職員の給与水準を表したもの。

人件費の状況（一般会計）（昭和63年度決算）

住民基本台帳人口	歳出(A)	実質収支	人件費(B)	人件費率
10,872人	千円 4,206,396	千円 151,537	千円 960,181	(B／A) 22.8%

（注）人件費には特別職に支給される給料・報酬等含みます。

給与費の状況（一般会計）（平成元年度予算）

職員数	給与費			職員１人当たり給与費
	給料	職員手当	計	
149人	千円 432,858	千円 245,830	千円 678,688	千円 4,555

（注）職員手当には、退職手当を含みません。

職員の期末、勤勉手当（平成元年度）

区分	６月期	12月期	３月期	計	63年度1人当たり平均支給額
期末手当	1.4月分	1.9月分	0.5月分	3.8月分	852,084円
勤勉手当	0.5月分	0.6月分	—	1.1月分	244,640円

※国家公務員も同じ支給割合になります。

職員の初任給（平元１．１現在）

区分	一般行政職		技能労務職	
	決定初任給	採用2年経過後	決定初任給	採用２年経過後
大卒	116,700円	126,800円	——	——
高卒	102,200	108,800	99,800	106,300
中卒	——	——	88,900	94,400

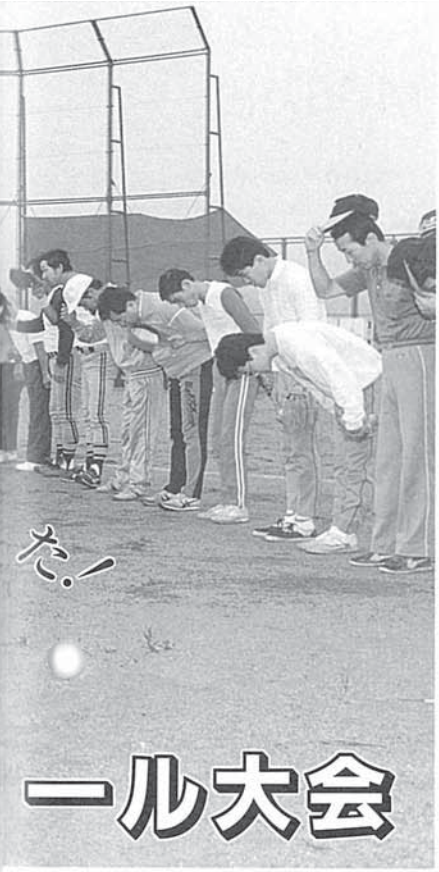
※大学卒の場合、朝日町においてはⅠ種・Ⅱ種試験を実施していませんので、大学卒であっても初級合格者（高校卒業程度）として格付し、修学年数を加算して決定しています。

職員の平均給料月額、平均年齢の状況（平成４．１現在）

一般行政職		技能労務職	
平均給料月額	平均年齢	平均給料月額	平均年齢
247,720円	40.0歳	216,876円	42.4歳

以上のとおり、町職員の給与などについて掲載しましたが、みなさんの納得される適正な水準と運営をはかるため、ご意見などお寄せください。

【総務課庶務係】



た！

ール大会

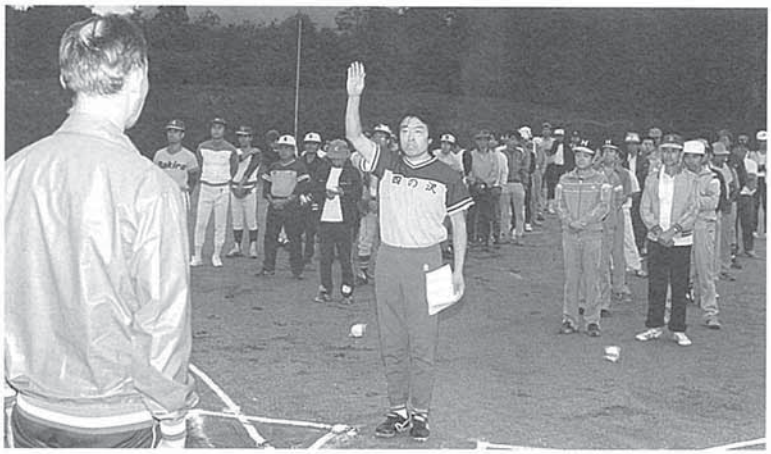
37回を過ぎて、75対48で先攻チームがリード

76イニングで幕

「朝日自然観」のオープンを記念する「十二時間ソフトボール大会」が九月三日、秋葉山グラウンドで開催。主催したのは町ソフトボール協会(浅岡清一会長)。当日はあいにくのうす曇り。集合時間の午前五時はまだ明けやらないうす暗さ。壮年層を中心とした二百人の選手らは、二コートに分かれ、五時四十分の祝砲とともにプレーを開始しました。

試合は、各単位チームの交替制ですすめられ、途中小雨も降りだしましたが続行。午後五時四十分、延々十二時間の試合が終了。選手らは心地よい疲れに酔いしれ、握手を交わしながらお互いの健闘をたたえ合いました。試合結果は、Aコートは七十五イニングまでで百十五対七十九、Bコートは七十六イニングの百五対九十四でした。

力強いプレーが展開された



「12時間を戦い抜きます」と四ノ沢チームの鈴木選手が宣誓

いいコースにボールがきたぞ

次の出番をまつ選手のみなさん

カメラあんぐる

花火の合図でスタート

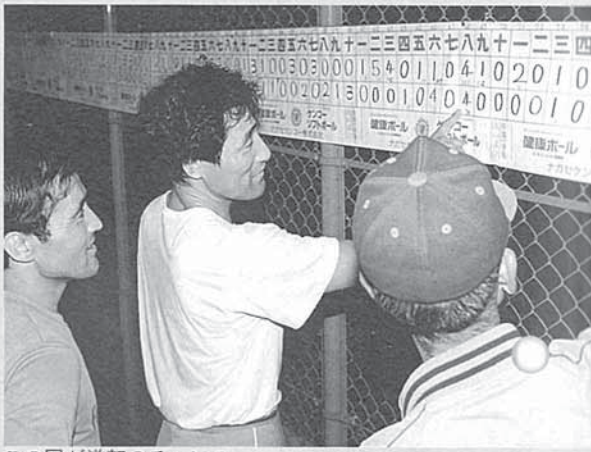
Asahi自然観オープン記念

12時間ソフトボ

戦いすんで日が暮れて、次は夜のコーナーかな？

ボールに負けるな、あと一歩

紅一点の本町の鈴木選手もがんばりました



この回が逆転のチャンス
だったのになあー

仲間のプレーに笑顔で声援

ナイス！　バッティング

かり、心から反省したとは思えません。育つのは反発心だけではないでしょうか。

たたいて従順にさせたとしても、それは、多くの場合、「あの人はたたくから、たたかれないようにしていよう」と思わせているように思います。

たたくと効果があるのではなく、本気になって、親身になって教える中にこそ子供の心に通じるものがあるのだと思います。

父兄の望む〝厳しさ〟

父兄が望む「厳しさ」というのは、「教師の姿勢に厳しさを」ということではないでしょうか。

厳しいということは、しかめっつらで子供を見ることではなく、とりつく島もないような話し方で教えることでもないと思います。子供と約束したこと、あるいは子供に目標として持たせたことをきちんと点検し、評価することだと思うのです。

「宿題を出したら、必ず点検を。そうしないと、子供は宿題をしなくなる」という親の声を聞きます。全くその通りだと思います。日によっては、教師は宿題の中味の正誤までは見られないこともあります。でも、宿題として出したからには、したかどうか確かめなければならないことだと思います。中味の正誤の確かめは、授業のなかでもできるし、テストをやってもわかります。

でも、「先生が宿題を見ないから、子供がしない」という言い方をする親の子は、宿題を忘れるという傾向もあるようです。学級で宿題を出すことに決まったら、宿題をさせる厳しさが親にもあってしかるべきではないでしょうか。

家庭の中に、宿題をしているひまがないような重要なことが起こった時は別です。そのような時、宿題をして来ないことをしかる教師はいないはずです。

悩みのサインにはあたたかく

学校には、悪いことは悪いと厳しく教えなければならないことと同時に、どんな過ちをも悩みをもあたたかく受け入れてやることも必要だと考えます。

子供達が問題行動に走る時、必ずその以前に悩みのサインを発しているといわれます。悩みのサインは十人十色、ある子は甘えようとし、ある子は隠れようとし、また逆に目立ちたがる子もいたり、挑戦的に出る子もいます。ですから、形だけの指導をしていたのでは、子供は離れていくばかりです。

担任した子の中に、「学校も親も、もう手の打ちようがない」と言われていた子がいました。心配でじっとしておれず、日曜日も毎週のように、その子の家に出向いたことがありました。四か月も過ぎたころからでしょうか、問題行動もなくなり、勉強にも意欲を見せ始めたのでした。

学校と家庭と地域が手を結んで

よい子は親と学校だけでは育てられません。地域にもこまやかな指導があってこそ、子供達は意欲的に活動できるのではないでしょうか。

祭やその他の地域の行事で、子供達にある任務を与えてみましょう。機械的に役割を分担するのではなく、地域運営になくてはならない存在として位置づけすることです。手順とか技術とか結果について話し合う中で、心を通じ合うことが大切なのではないでしょうか。

このような、地域との結びつきがあれば、子供はまちがいなく健やかに育つように思います。

＊

教育広報委員
小関恵美子

ひろば

キャンプ用テント大好評

自治宝くじ助成事業

野外活動の拠点、テント村

朝日自然観の一部オープンでにぎわったこの夏、子供たちの人気を集めたのが高床式のキャンプ用テント。七、八月の二か月間でのべ百六十一棟、七百人あまりが利用しています。

このテントは、財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業（自治宝くじ助成）の補助をうけて購入したもので、テント三十五張、毛布七十枚、食器などキャンプ用品一式で百万円の事業費となっています。

Asahi自然観 CIデザインがグランプリ受賞

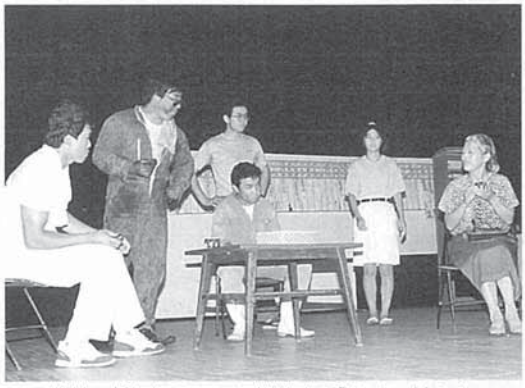
多田拓生さん

家族旅行村のCIマーク「Asahi自然観」が、このほど行われた日本グラフィックデザイナー協会のコンテストでグランプリに選ばれ、関係者は喜びにつつまれています。

このCIマークは、昨年本町出身のグラフィックデザイナー多田拓生氏が町の委託をうけて制作し、町CI専門委員会の検討を経て生まれた作品。本年8月発行の「年鑑日本のグラフィックデザイン」の中で全世界に紹介され、好評を博しています。日本グラフィックデザイナー協会は、日本を代表するデザイナー3,000人を擁する権威のある団体。今回のコンテストは設立10周年を記念して行われたもので、多田氏が出品した10点の作品の中から選ばれたもの。多田氏は「オープンを目前にして幸運なこと。Asahi自然観を世界に発信する絶好の機会となり、こんなに嬉しいことはありません」と語っています。

演劇発表 「ゴールド人材センター」時間に負けて優勝逃す

県青年大会



農村の新たなテーマに挑戦する「りんご村から」

県内青年団体の文化とスポーツの祭典、第三十八回県青年大会が新庄市を主会場に九月二日から二日間の日程で開かれ、町連合青年団からは今年も、演劇や絵画、剣道、野球競技など、六種目に総勢三十八人の選手が出場しました。

演劇の部への出場は、劇団「りんご村から」のメンバーを中心に今年で二回目。昨年は全国大会へ出場した実績もあり、出演者の新編成をはかっての出場。農村社会の高齢化と停滞する青年団活動からの脱皮をクロステーマとした創作劇「ゴールド人材センター」を上演。審査発表では、テーマの設定や演技力が好評だったものの、舞台設営時間にロスタイムが出て発表時間を大きくオーバー。南陽市チームに全国大会への夢をゆずりました。

また、剣道競技での優勝も期待されていましたが、初戦の寒河江市チームに苦戦を強いられ惜敗。不戦勝ちの相撲競技や展示部門での入賞にとどまりました。

町民の

隣のリンゴ家族

堀ひのき　(9)

八ツ沼チームが2連覇

雨にも負けずハッスルプレー
第5回高齢者ゲートボール大会

第五回高齢者ゲートボール大会が九月六日、大谷の秋葉山グラウンドで開かれました。大会には二十一の単位クラブから二十七チーム、およそ二百人が参加。

当日はあいにくの小雨模様で開催があやぶまれましたが、選手らにとってはなんのその。同会場は町内の施設の中でも水はけがもっともよいグラウンドだけに〝小雨結構〟。選手らは愛用のスティックを手にハッスルプレーを展開しました。

試合の結果、鈴木正雄監督率いる八ツ沼チームが昨年に続き優勝、初の二連覇を果しました。準優勝は宮宿、三位は四ノ沢と大谷Bの各チームでした。

また表彰式では、いつも元気なプレーを見せてくれる選手に「御達者出賞」を準備。本町の岡崎唯由さん(86)と川通の渡辺もゝのさん(85)、志藤六郎さん(81)の三選手に贈られました。

朝日町が生んだ日本書道会の巨匠

佐藤祐豪書道展を開催

10月10日～15日

氏の昭和56年の作品

朝日山麓家族旅行村のオープンを記念して、朝日町中央公民館展示室で佐藤祐豪書道展を開催する。期日は十月十日(体育の日)から十五日(日)までの六日間、重厚な作品群が展示される。

氏は明治三十八年十月に当町和合に生まれた。本名は祐五郎。和合小、宮宿小高等科を卒業。この年水本小代用教員となり大谷小にも勤務する。この間、吉田苞竹に師事して書を学ぶ。

大正十四年上京、学校教員のかたわら、書の道に精進する。はじめは示右と号し、各種書道展の審査員をつづける。

昭和二十五年に祐豪と改号し書風いよいよ深みを増す。昭和三十四年に書道雑誌「六書」を創刊し主筆となる。

その後、日本書道院理事会長などを歴任、書道界の重鎮として今日に至る。

現在は日展参与、毎日展名誉会員、日本書道院顧問、全日本書道連盟顧問等の要職にあり満八十四歳。ぜひご覧下さい。

水面から打ち上げられる花火は見ごたえ十分

雨に見舞われて"不発" 去りゆく夏を惜しむ

上郷ダムまつり・花火大会

第二十一回の上郷ダムまつりが八月十四日に行われました。日中は、上郷ダムでの釣り大会や大町駐車場でのおまつり広場などの催しが開かれ、夏休み中の子供たちやお盆の帰省客らでにぎわいました。

まつりのメインは、なんといってもダムの湖面に映る光の芸術、ナイヤガラの仕掛け花火や水中花火などの大花火大会。当日は朝からうす雲の広がるあいにくの天気でしたが、たいして雨の降る様子もなく、予定通りの開催となりました。

しかし、午後五時すぎから小雨が降りだして大会本部をあわてさせ、花火の火薬が雨に濡れて不発の危険も予想されることから、午後七時の打ち上げ時間を三十分早めて開始。いつもは超満員の観覧席となる上郷ダム公園も、天候の影響でいつもの半分以下。カサをさした家族連れや若いカップルが、雨に濡れた足元を気にしながらも、目前で花開く豪快な水中花火に去りゆく夏を楽しみました。

雨ガサをさしての花火の見物となった

宮宿公民館ではふるさとのみやげ品即売

火災 救急 119番は 落ち着いて正確に

今年の出動件数 2.93日に1回

阿部保健婦長が「一日救急隊長」

救急用器具の説明を受ける一日隊長（中央）

二・九三日に一回。これは町内での今年の救急出動件数を表したものです。消防朝日分署での、八月末までの出動件数は八十三件、うち急病によるものが三十九件ともっとも多く、次いで交通事故によるものが十三件となっています。

昭和五十七年からつくられた「救急の日」の九月九日の前日、救急医療の大切を呼びかける恒例の「一日救急隊長」の行事が行われました。

今年の「隊長」さんは町の「保健婦さん」の阿部麗子保健指導係長。朝日分署内で、広域消防本部の高橋予防課長から一日救急隊長の辞令を受けた阿部隊長は「昼夜を問わない町民の安全確保に、これからもがんばってください」と整列した全署員に激励の「訓示」。その後、救急隊の救助訓練や署員との懇談会にのぞみました。

沢田聖子

Fresh in Asahi

Asahi自然観オープン記念コンサート

▼い　つ　10月7日(土)　PM1：30開場
▼どこで　Asahi自然観 中央広場（白倉）
▼入場料　無料。ぜひ、プレゼント抽選付入場整理券をお求め下さい。
中央公民館、西部・北部公民館ほか、商工会、山形朝日農協、連合青年団などで取り扱っています。
▼問合先　役場商工観光課　☎67-2111
Asahi自然観　☎67-7111

「卒業」「シオン」の曲でおなじみの沢田聖子を招き、Asahi自然観で大野外コンサートを開催！

小雨決行

お友だち、ご家族、お誘い合わせの上、多数おいでください。

西船渡チームが初優勝

西部地区親善ソフト大会

いいボールがきたぞ

第九回西部地区親善ソフトボール大会が八月二十七日、西部公園グラウンドで開かれました。同大会には十七チームが出場。当日はあいにく小雨の降る天気となりましたが、各チームとも水滴をはじくパワーで熱戦が展開されました。

今大会の話題は、今平チームの三連覇達成なるか。しかし二回戦で強豪西船渡チームと対戦し、最終回逆転による惜敗。逆に好機をものにした西船渡は決勝に勝ち進み、長沼チームを下して初優勝を果しました。準優勝は長沼、三位は松程のトンネルズとブルートレーンの各チームでした。

西村山地区予選で健闘

県少年少女スポーツ交流大会の出場選手

8月27日と9月3日に行われた県少年少女スポーツ交流西村山地区大会で、本町のスポーツ少年たちが大健闘。10月1日に開かれる県大会の出場権を手にしました。

県大会出場選手▼朝日町柔道スポ少▽男子　小川悟・長岡直人・鈴木卓己・池田潔・高取岳彦・佐竹光　▽女子　木村ゆき・成原千明　▼大谷剣道スポ少▽男子　池田秀和・渡辺繁幸・志藤修・白田貞一・白田裕樹・庄田崇・長岡孝博　▽女子　長岡由佳・武田恭子・渡辺一美・遠藤早苗・五十嵐真帆・鈴木早苗・佐々木千春　▼送橋剣道スポ少▽男子　大滝勝行・海野正志・渡辺裕貴・阿部貴之・相座正・海野智史・渡辺裕俊　▽女子　清野千春・岡崎美貴・渡辺歩美・清野敦子・岡崎由美・清野弥生・大滝千春　▼陸上競技100m　安達真由美(宮宿バスケットスポ少)